

議長定例記者会見の概要

日 時：令和5年12月12日(火)

午前10時58分～11時26分

場 所：議長応接室



11月定例会を終えての議長所感

(濱砂議長)

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。11月定例会も本日もって、19日間の会期を終えたところであります。今定例会では、国の総合経済対策に係る補正予算など、追加提出分を含め、合計45件の知事提出議案をすべて原案のとおり認めたところでございます。このほか、議員発議の議案として、4件の意見書を可決いたしました。「HPVワクチン接種政策の充実を求める意見書」、「食品ロス削減へ国民運動の推進を求める意見書」、「高病原性鳥インフルエンザの対策強化を求める意見書」、「地方公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書」の4本でございます。

また、一般質問では11月29日から12月5日の5日間で、合計18名の議員が質問に立ち、令和6年度予算編成方針や「3つの日本一挑戦プロジェクト」をはじめとして、県民が抱える様々な課題について、時に厳しく問いただすなど、活発な議論が展開されました。

提出議案については、開会日に提案されたものに加え、国の補正予算を受けた物価高対策、所得向上対策及び国土強靱化対策等に係る補正予算が追加提案され、先ほどの本会議において可決されたところでありますが、宮崎再生に向けての足がかりとなる良い議会となりました。私からは以上です。

質疑応答

【MRT】

県議選で新体制となり、今年1年を終えるわけですが、この新体制下での議会運営を総括的にどのように捉えているのか議長と副議長にお伺いします。

(濱砂議長)

当選された議員からは様々な話を伺うことができ、当選後、半年以上が経過するところではありますが、それぞれの持ち味を生かして、県政の中に新しいものを吹き込んでいただいていると思います。本人たちの個性や地域を踏まえた政治的な意見など、今からまだまだ出てくると期待をしているところです。

(日高副議長)

県議選があり、その前には知事選も行われ、新たな宮崎県政を目指していかなければならないと思っています。一般質問でも3つの日本一挑戦プロジェクトなどで、もっとこのようにしていく必要があるといった建設的な議論が展開され、宮崎県を全国的にアピールしていく機運が芽生えてきたのではないかと考えています。

【読売新聞】

知事も4期目となりましたが、知事の変化はどのように感じますか。

(濱砂議長)

今回は非常に苦戦をされておりましたが、その苦戦の原因を知事は十分に分析されたのだろうと思います。3つの日本一挑戦プロジェクトといった政策を打ち出し、河野知事の新たな宮崎県を構築されようとする姿勢が現れてきているのではないかと考えます。

(日高副議長)

調整能力や総務省としてのキャリアもあり、知事として私は評価しています。今回の選挙で、県民へより意識が向くようになったという気がしていますが、九州知事会の会長になる可能性もあるなど、活動範囲はどんどん増えていきます。県政をおろそかにせず、今後どのように変わっていくのかがターニングポイントになるかと考えています。

【MRT】

11月定例会で追加提出され可決された補正予算の経済対策についてどのように感じますか。

(濱砂議長)

早期の景気回復を目指し、県の状況に合わせて予算を組んできたものだと思いますので、当然にそうしてもらわないといけなかったものだろうというように私は受け取っています。

(日高副議長)

国土強靱化に係るインフラの予算がほとんどを占めていたと思いますが、台風6号関係で入札の不調不落が実際に起こってしまっていると聞いています。しかしながら、建設業も、人材不足や物価高騰などがあり大変な状況だと思います。今回の補正予算もありがたいものですが、国等が労務単価にも手をつけてくれれば効果があるのではないかと考えています。

【共同通信】

県人会世界大会が開催されたが、どのような成果を得ましたか。また、これを今後どのように県政に活かしていくべきだと思いますか。

(濱砂議長)

国内外の県人会から多くの方が集まっていたいただき、非常にインパクトがあったと思います。宮崎県を思い出して盛り上げていくという意味では、共通認識ができたと思いますが、これを一過性のものにせず、宮崎県の活性化のためにどのように活かして取り組んでいくのかが一番大事なところです。終わったばかりでこれからだと思いますが、期待をしているところです。

(日高副議長)

各国、全国の県人会から参加していただき、初めての取組だったと思います。宮崎県とつながりがあった方が来られたが、将来に向けて継続してつながりを持たないと縁が切れてしまうのではないかと思います。せっかくのこの機会を活かして、宮崎県のアピールなどを行っていただきたいと思います。また、高校生海外留学の予算もあり、これから国際化の動きがでてくれば、このつながりを起点としていけるところがメリットであると感じました。

【NHK】

3つの日本一挑戦プロジェクトで再造林日本一などの目標を掲げていますが、それに対する評価と、河野県政に求めていくものがありましたら教えてください。

(濱砂議長)

出生率日本一については、現在、県の人口が約104万人ですが晩婚化等により難しい問題であると認識しており、子どもを産んで育てていきたい環境を整えるなどの対策を打っていかねばいけないと思っています。

(日高副議長)

出生率日本一ということですが、出生率が上がっても、数としては減る場合もあるので、表現が適当ではないのかもしれませんが、出生数をあげる必要があるのではないかと思います。本県としてタイムリーな事業をどのように進めていくのかは楽しみです。

また、スポーツは宮崎県の売りとする部分であり、沖縄県などと刺激し合っているしながら継続して伸ばしていくべきものだと思います。宮崎市に集中している状況ですが、少しずつ全県化していただきたいです。